

## 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

作成日 平成20年3月21日

事業所番号	2774201798	評価機関名	特定非営利活動法人
法人名	社会福祉法人 親和会		近畿マネジメント・サポート・センター
事業所名	グループホーム 末広	所在地	大阪市東住吉区山坂5-5-14-103
所在地	大阪府茨木市庄2丁目5番1号 電話072-625-6258	評価調査日	平成 20 年 3 月 15 日
		評価確定日	平成 20 年 3 月 22 日

## 【情報提供票より】(平成20年3月1日事業所記入)

## (1) 組織概要

開設年月日	平成16年9月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数	9 人
職員数	8 常勤 4人 非常勤 3人	常勤換算	3.9 人

## (2) 建物概要

建物の構造	木造スレート 造り
	1階建て

## (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	45,000円 その他の経費(月額 28,000円)			
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金を含む)	有 500,000円			
		償却の有無	無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		1,200	円

## (4) 利用者の概要(12月22日現在)

利用者人数	8名	男性	0名	女性	8名
要介護1	2名	要介護2	4名		
要介護3	2名	要介護4	0名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 82才	最低	73才	最高	93才
	(5) 協力医療機関名				
	北摂総合病院				

## 【外部評価で確認された、この事業所の特徴】

ホームは、開設以来、3年半経過しているが、室内は掃除が行き届き、まるで新築のような雰囲気である。運営理念は「大家族 ゆっくり いっしょに 楽しい 暮らし」という極めて分かり易い表現で、これを介護の基本としている。また、職員は管理者の指導の基、徹底したチームワークで、利用者本位の大家族のようなアットホームなムードがある日々を醸し出している。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題と、その後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	利用者1人ひとりの性格、過去の生活振り、趣味、好き嫌い等のアセスメント記録を、職員一同が聞き取り、見取りを、昨年から引き続き実行している。そして、この記録をケアの改善計画の基礎としていることに加えて、毎日の申し送り事項の職員の確認サインも、洩れなく実施している。利用者の夜間も含めた変化への対応についても、適切に行われている
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	昨年の評価への取り組みを踏まえて、今回は管理者の丁寧さに対する職員のカンファレンスを、何回か実施し、検討改善を文章化して来た。ホームは設立3年半後の現在、職員の勤続状態は安定しつつあります。今回の評価に当たってもチーム活動が定着し、利用者一人ずつの記録が的確に把握されており、介護の向上ぶりが利用者の笑顔を見ることにより、納得することが出来た
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容、及び、それらを活かした取り組み(関連項目:外部4、5、6)
	運営推進会議は第1回を平成18年12月12日に開催し、以後第8回目が明日、3月16日に開催される予定。発言内容は、グループホームの生活についての現状と、事例の説明、また外部評価の結果報告などについて、質疑応答等を行って来ている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7、8)
	ご家族アンケートの集計を見ても、ご家族は職員のケアについては、安心しているようである。また、家族会や、運営推進会議での発言内容から推測しても、満足な様子が伺える
重点項目⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域の組織が開催している行事には案内を頂き、殆ど参加している。会場では優先的な場所を確保してもらう等の配慮も頂いている。また、地域の掲示板へのホーム便り等を掲示することについても了承を頂き、今後、始めようとしている。

（ 部分は重点項目です）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I 理念に基づく運営</b>					
<b>1 理念と共有</b>					
	1	○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中で、その人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念として「大家族 ゆっくりいっしょに 楽しい暮らし」を掲げている		
	2	○ 理念の共有と、日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者は、なによりも経営理念を、全職員が実行することを基本としている		
<b>2 地域との支えあい</b>					
	3	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等の地域活動に参加し、地域の人々と交流することに努めている	ホームも地元の一員として自治会に参加しており、また、地元自治会の皆さん方には、ホームの行事にも参加していただけるように、広報掲示板の利用や、口コミを検討している。		
<b>3 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
	4	○ 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員一同へは、管理者が申し送り時に自己評価、外部評価の意義を説明し、介護の改善への提案を促している。		
	5	○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について、報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービスの向上に活かしている	運営推進会議は、第1回を平成18年11月に開催し、以後、平成20年3月までに8回開催し、出席者の皆さんと、認知症の方々がどのように毎日の生活が行われているか等の質疑応答を行っている。	○	地元自治会の各種組織の方々との交流や幼稚園・小中の各学校との交流も、長い目で見て図ってください。
	6	○ 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市役所の介護保険課の担当者には、書類の届け出で顔見知りとなっている。今後も提出書類は、直接に手渡して情報交換を図る。		
<b>4 理念を実践するための体制</b>					
	7	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び、個々にあわせた報告をしている	来訪されるご家族とは、毎日の生活振りを詳細に話し合っている。月1回の家族会での報告、毎月の「末広通信」で報告を行っている		
	8	○ 運営に関する家族等の意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会で、ご家族との個別面談をしており、更に、日常の来訪時でも職員が、機会を設けて聞き取りを行ったり、説明をしている。投書箱は玄関口に置いている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	9	18	<p>○ 職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	○	チームワークを今後とも持ち続け、利用者の笑顔、職員の達成感を期待したい

## 5 人材の育成と支援

	10	19	<p>○ 職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>		
	11	20	<p>○ 同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて質を向上させていく取り組みをしている</p>		

## II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

## 1 相談から利用に至るまでの関係づくりと、その対応

	12	26	<p>○ 馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して納得した上で、サービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>		
--	----	----	---	--	--

## 利用

	13	27	<p>○ 本人と共に過ごし、支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>		
--	----	----	---	--	--

## III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

## 1 一人ひとりの把握

	14	33	<p>○ 思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>		
--	----	----	--	--	--

## 2 本人がより良く暮らしを続けるための介護計画の作成と、見直し

	15	36	<p>○ チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>		
--	----	----	---	--	--

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	利用者の症状の変化に合わせて、ご家族、必要な関係者とも話し合い、新たな介護計画の作成が行われている		

## 3 多機能性を活かした柔軟な支援

17	39	○ 事業所の多機能性を活かした支援 本人や、家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	このホームの多機能性を活かした要望があれば、出来る範囲内で対応しお答えしている		
----	----	---	---	--	--

## 4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

18	43	○ かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られた、かかりつけ医と、事業所の関係を築きながら、適切な治療を受けられるように支援している	ホームの方針として、掛かりつけの医師に、ご家族と一緒にリハビリ等も含めて、治療を受けられるよう支援している		
19	47	○ 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や、終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびに、かかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	基本的に当ホームは、治療が必要となった場合は入院としている	○	重度化や終末期に対するホームとしてのマニュアルを作成し、職員の知識と対応を共有のものとして欲しい

## IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

## 1 その人らしい暮らしの支援

## (1) 一人ひとりの尊重

20	50	○ プライバシー確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員の内部研修で、プライバシーの尊重、言葉遣いについて現在も重視し実施している		
21	52	○ 日々の、その人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ホームとしての予定業務の遂行ではなく、利用者の意思や体調を尊重した介護であるように努力している。学習療法を採用し、脳の活性化による認知症の進行を遅らせるよう図っている		

## (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援

22	54	○ 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事について利用者は夫々、役割分担があり、準備、調理、片付け、を職員と一緒にやっている。		
----	----	---	--	--	--

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	23	57	<p>○ 入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		入浴時間は、ある程度 利用者の希望に沿えるように図っている。

## (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援

	24	59	<p>○ 役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		職員が提示するプログラムだけでなく、出来るだけ利用者の希望に沿ったレクリエーション、外出、行事等を行っている
	25	61	<p>○ 日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりの、その日の希望にそって戸外に出かけられるよう支援している</p>		利用者本人の意向を先に行っている買物、散歩等について、散歩が苦手な方には、室内で自由にして貰っている

## (4) 安心と安全を支える支援

	26	66	<p>○ 鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中、玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		日勤帯では、玄関・居室には鍵をかけていない
	27	71	<p>○ 災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	○	消防署の協力で、署員の指導により消火研修を受けた  避難訓練を、職員間でマニュアル化しておいて欲しい

## (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援

	28	77	<p>○ 栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>		食材は専門店からの取り寄せではあるが、メニューはカロリー数が明記されている。利用者の手伝いは、出来る方にしてもらっている
--	----	----	---	--	--

## 2 その人らしい暮らしを支える生活習慣づくり

## (1) 居心地のよい環境づくり

	29	81	<p>○ 居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		落ち着いた感覚でカレンダー、行事報告写真や、季節感の掲示等が行われている
	30	83	<p>○ 居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		ホーム側としては自由に、これまで使っていた物品の持ち込みを伝えているが、持込みは少なく、落ち着いた雰囲気、各自の部屋を使っている。